

初学者のための、やさしい中医臨床の手引き！

漢方方剤ハンドブック

菅沼 伸／監修 菅沼 栄（中国名：胡栄）／著
B5判 312頁 カバー装 定価：本体価格 4,078 円+ 税

漢方エキス製剤をより有効に運用するために！
胡栄先生のもう1冊の本、続いて出版！



日本に来日してすでに18年。著者胡栄先生は、漢方エキス製剤をより有効に使うために、日本の医療現場の実情を踏まえながら、一貫して情熱的に中医学的運用の効用を説き続けてきた。なぜ胡栄先生の講義は聴講生から人気があるのか。迫力ある講義の魅力もさることながら、胡栄先生の講義の内容が、日本の実情に合致しており、聴講生が自ら実践できるわかりやすい方法を提供してくれるからである。

本書は、先に出版された『いかに弁証論治するか』と同じく、18年来胡栄先生が続けてきた講義の内容を再編したものである。日本の漢方エキス製剤のための中医学的方剤学書といえよう。方剤の特徴と効能を簡明に紹介し、どのような病態に適應するか、どのような注意が必要かを、中医学の立場と自らの経験を踏まえて解説、臨床におけるヒントをわかりやすく説明する。ぜひ『いかに弁証論治するか』と合わせて学習されたい。

全136処方

★姉妹編

いかに弁証論治するか

【疾患別】漢方エキス製剤の運用

菅沼 伸／監修 菅沼 栄（胡栄）／著
B5判 並製 296頁 定価 3,800 円（送料 380 円）

28疾患について病因病機と弁証論治、方剤選択を簡潔・明解に解説！ 漢方エキス製剤を中医学的に運用するための治療指針！ 興味深く、役に立つ臨床のヒントが満載！ 教科書スタイルでないわかりやすい解説！ 『中医臨床』誌に連載中の、胡栄（菅沼栄）先生の熱気溢れる講義を改訂、図表を加えて単行本化！

ご注文は FAX 専用フリーダイヤルで 今すぐに FAX 0120 - 727 - 060

〒272 千葉県市川市宮久保
3-1-5

東洋学術出版社

電話 (0473) 71 - 8337
FAX 0120 - 727 - 060

漢方エキス製剤の活用範囲を広げる実用中医学入門書！

菅沼栄（旧姓胡栄）先生は、北京中医药大学を卒業され、有名な任应秋教授に師事された方である。来日後、十年以上にわたって永谷義文先生が主宰される東京中医学研究会で講義をされてきた。本書は、その講義をもとに日本で利用できる漢方エキス製剤の中医学的解説書としてまとめられたものである。長年の経験にもとづくものだけに、日本人の身体にぴったり合った内容となっている。本書は、方剤を作用別に十一種に分け、それぞれ①適応証、②証の病態、③処方構成生薬の薬理に言及し、④臨床応用では、中医学的な応用だけでなく、日本漢方の利用法も紹介している。

身近にあるエキス製剤を使って中医学理論を学ぶことができ、さらにはエキス製剤の利用範囲が広がるという意味で誠にありがたい書籍であり、恰好の中医学実用入門書といえる。

（日本医大東洋医学センター講師 白石佳正）

小柴胡湯 (しょうさいこうとう)

組成	柴胡12 黄芩9 人参9 炙甘草6 半夏9 生姜9 大枣9
効能	和解少陽*
主治	少陽証*

* 和解少陽：本項の病位部位は少陽胆にある。太陽病（表証）に対しては汗法、陽明病（裏証）に対しては下法を用いるが、少陽病（半表半裏）には汗法、下法を用いてはならず、治癒法のひとつである和解法が必要となる。

* 少陽証：太陽は表（背部）、陽明は裏（腹部）、そして少陽は表と裏の間、すなわち半表半裏（身体側部）を占めている。少陽経は陰陽および全身を結ぶ要の役割をしており、邪氣が少陽（肝胆）に侵入すると、寒熱往來、胸脇苦満、口苦、咽乾、目眩など少陽証特有の症状がみられる。

◎解説 本方剤は「陽明論」の名で、六経有部の少陽論に用いる主方である。主薬が柴胡で効能は「太陽病論」より明かであることから「小柴胡湯」と名付けられている。

- ◎寒熱往來——悪寒と発熱が交互に現れる症状で、少陽証のみみられる特有の発熱である。正氣と邪氣の抗争において邪氣の勢力が強いと悪寒、正氣の勢力を優り発熱と発熱する。太陽証の「寒熱往來」（悪寒と発熱が同時に現れる）や、陽明証の「但寒不寒」（発熱だけで悪寒しない）とは異なっている。
- ◎胸脇苦満——胸腹部は少陽経の走行路線である。少陽証のみにみられる特有の発熱である。重症しい、不快感、胸膈感などの症状が現れる。
- ◎口苦——胆府に侵入した邪氣が消化して、胆汁を上昇させることによって生じる症状である。
- ◎咽乾——胆汁が咽道を損傷することにより、咽道部に高さが見られる。
- ◎目眩——肝は目に開通し、胆と表裏関係にある。肝胆の邪氣がその経路に沿って上昇し頭・目に影響すると眩暈症状が現れる。
- ◎食後不眠——肝胆の疏泄機能が失調して、脾胃に影響を及ぼすと、脾の運化機能が低下して食後不眠となる。これを「肝気横犯脾胃」という。
- ◎心煩——肝火が上炎して心を犯し、心の藏神機能が失調するとイライラ、煩悶などの精神症状が出現する。五行学説からみると肝と心は母子関係にある。
- ◎悪心——上昇の性質をもつ肝胆の熱が、胃の降逆機能を阻害し、胃氣が上逆するためにおこる症状である。
- ◎舌苔薄白——病邪がまだ完全に裏に入っていないため、舌苔の變化は目立たない。
- ◎脈弦——肝胆の疾患を代表する脈である。

◎処方分析



本方剤は清熱和肝・益氣・和胃の3作用によって組成されている。柴胡と黄芩は邪熱を清する去邪薬で、特に柴胡は肝鬱治癒の代表薬である。柴胡は疏肝理気的作用によって、肝胆の疏泄機能を調節し、少陽経氣の流れを通じさせ、苦寒の薬性をもつ清熱薬の黄芩と一緒に少陽経の邪熱を清する。人参・炙甘草・大枣は益氣薬である。本証は邪氣が体質の虚弱に乗じて少陽病に入り込んだ病証なので、益氣薬を用いて邪氣の伝変を防ぐ必要がある。本方は清熱薬と益氣薬を配合した扶正去邪の方剤である。半夏・生姜は胃の降逆機能を調え、少陽証にみられる悪心、食欲不振など脾胃病状を治療する。

◎臨床応用

- ◎少陽証——「小柴胡湯」の主治である往来寒熱、口苦、咽乾、胸脇苦満、心煩、悪心などの症状に広く用いられる。これらの症状が揃わなくても使用可能である。
- ◎婦人經閉——月経期間の六七、産後の発熱に使用される。月経閉止期あるいは産後の血毒（子宮）が空腔になったところへ邪氣が侵入し、血を凝らしている肝および胆に影響を及ぼすと、少陽証の症状が現れる。熱病状がみられないときは「白朮湯」（散寒調經）を用いてもよい。
- ◎外感熱病——柴胡、黄芩には清熱作用があるので、外感風熱証（カゼ、インフルエンザ、急性気管炎など）に適している。中国では、柴胡味のエキス剤をカゼの予防・治療に用いている。本方中には人参などの補益薬も配合されており、虚弱体質の人にも対応できる。しかし、補益薬が過剰に作用して邪氣になる場合もある。
- さらには熱が強いとき + 「白朮湯」（散寒調經）
- ◎肝胆疾患——慢性の肝炎、胆嚢炎、膽結石に際する脇痛、食後不眠、悪心などの症状（少陽証）に用いる。これらの病位は肝胆にあるので、本方を基本方剤にするが、症状によって次のような服用を行なう。
- 黄直、下痢、舌苔黄膩などの濕熱病状がある。
 湿より熱が強いとき + 「茵陳蒿湯」（清熱利湿）
 熱より熱が強いとき + 「茵陳五苓散」（利湿清熱）
 両病の形相がついとき + 「四逆散」（散寒活絡）
 または + 「桂枝茯苓丸」（活血化癥）
 胆腹部の胆痛が顕著なとき + 「四逆散」（理氣止痛）

解表剤

- 辛温解表
麻黄湯
桂枝湯
葛根湯
葛根湯加川芎辛夷
十味敗毒湯
- 辛涼解表
銀翹散
麻杏甘石湯
五虎湯
升麻葛根湯
- 化湿解表
藿香正气散
香蘇散
- 扶正解表
參蘇飲
麻黄附子細辛湯
- 瀉下剤

寒下

- 大黄甘草湯
大承氣湯
調胃承氣湯
- 潤下
麻子仁丸
潤腸湯
- 和解劑
和解少陽
小柴胡湯
柴胡桂枝湯
柴胡桂枝乾姜湯
- 調和肝脾
四逆散
加味逍遥散
当帰芍薬散
芍薬甘草湯
調和胃腸
半夏瀉心湯

黄連湯

- 清熱劑
清熱瀉火
白虎加人参湯
小柴胡湯加桔梗石膏
- 清熱解毒
黄連解毒湯
立効散
排膿散及湯
温清飲
清上防風湯
荊芥連翹湯
治頭瘡一方
- 清臟腑熱
三黄瀉心湯
竜胆瀉肝湯
柴胡清肝湯
大柴胡湯

防風通聖散

- 乙字湯
清虛熱
三物黄芩湯
滋陰降火湯
- 温裏劑
温中散寒
人参湯
安中散
小建中湯
黄耆建中湯
当帰建中湯
桂枝加芍薬湯
桂枝加芍薬大黃湯
大建中湯
桂枝人参湯
呉茱萸湯
当帰湯
五積散

温経散寒

- 当帰四逆加呉茱萸生姜湯
- 去湿劑
燥湿和胃
平胃散
胃苓湯
茯苓飲
茯苓飲合半夏厚朴湯
小半夏加茯苓湯
- 清熱利湿
茵陳蒿湯
茵陳五苓散
柴苓湯
越婢加朮湯
五淋散
清心蓮子飲
清暑益氣湯

利水滲湿

- 五苓散
苓桂朮甘湯
苓姜朮甘湯
猪苓湯
猪苓湯合四物湯
木防已湯
真武湯
去風利湿
麻杏薏甘湯
薏苡仁湯
二朮湯
桂枝加朮附湯
独活寄生湯
大防風湯
- 去痰劑
温化寒痰
小青竜湯

苓甘姜味辛夏仁湯

- 二陳湯
半夏白朮天麻湯
神祕湯
清化熱痰
清肺湯
竹茹温胆湯
辛夷清肺湯
柴陷湯
桔梗湯
潤化燥痰
麥門冬湯
滋陰至宝湯
- 理氣劑
理氣
半夏厚朴湯
柴朴湯
- 理血劑
活血去瘀

冠元顆粒

- 桂枝茯苓丸
桂枝茯苓丸加薏苡仁
疎経活血湯
桃核承氣湯
女神散
通導散
温経湯
治打撲一方
大黃牡丹皮湯
止血
芎帰膠艾湯
- 治風劑
疏散外風
川芎茶調散
消風散
平熄内風
釣藤散

七物降火湯

- 当帰飲子
抑肝散
抑肝散加陳皮半夏
- 安神劑
安神
酸棗仁湯
甘麦大棗湯
天王補心丹
桂枝加竜骨牡蛎湯
柴胡加竜骨牡蛎湯
- 補益劑
補氣
四君子湯
六君子湯
參苓白朮散

補中益氣湯

- 啓脾湯
生脈散
補血
四物湯
人參養榮湯
十全大補湯
炙甘草湯
帰脾湯
加味帰脾湯
補陰
六味地黄丸
補陽
八味地黄丸
牛車腎気丸
海馬補腎丸